

きゅうしゅう

NO.73



上空から上警所、大浦湾を望む

目次 CONTENTS

- 1. 部隊紹介 : 海上自衛隊上対馬警備所
- 2. 自治体紹介 : 長崎県対馬市
- 3. 業務紹介 : 管理部施設取得課
- 4. インフォメーション : 第46回防衛問題セミナーほか

画像提供：海上自衛隊上対馬警備所



上警所から棹崎の夕陽を望む

九州防衛局 Kyushu Defense Bureau

<https://www.mod.go.jp/rdb/kyushu/>

編集・発行

九州防衛局 総務部

福岡市博多区博多駅東2丁目10-7 福岡第2合同庁舎

TEL092-483-8811



防衛省と地域社会との協力を
象徴するエンブレム

1. 部隊紹介



海上自衛隊上対馬警備所

1. 歴史及び任務



(1) 歴史

上対馬町は、豊かな自然と四季折々の景観を堪能でき、入り組んだ海岸は大部分が国定公園に指定されており、特異な景観を呈しています。また、対馬島の東北端に位置し、天気の良い日には、韓国の連山が展望できる国境の町として、日本の歴史に深くかかわってきました。

明治後期に島嶼町村制により豊崎村として発足し、昭和30年に上対馬町となり、平成16年には対馬市に編入されました。

当警備所は、歴史ある上対馬町に位置し、1954年に海上自衛隊発足後の同年12月に佐世保基地警防隊対馬連絡所が設置され、1960年に海上自衛隊地方総監部直轄部隊の対馬監視隊、1967年に上対馬警備所に改称されました。その後、1970年に対馬防備隊の隷下となり現在に至ります。



上対馬警備所長
3等海佐 大塚 理央

(2) 任務

対馬西水道及び沿岸水域のあらゆる艦艇等の動向や安全確保に関する情報業務として、24時間態勢で切れ間のない監視を実施しています。



★ひとつばたご★ (モクセイ科の落葉樹)

「ひとつばたご」は、対馬北部に自生している大陸系の木で町木に指定されており、純白の花が、雪のような小さな花を樹上に咲き満ちて入江を照らすことから「海照らし(ウミテラシ)」と言う名で地元民に親しまれています。

特に上対馬町鰐浦地区は国内最大の自生地であり、国の天然記念物に指定され、5月初旬には3000本の木が一斉に満開となり、毎年祭りが開催されています。当所内にも咲いており、桜が終わり新緑の季節を告げる花として、隊員の心を癒しています。

別名：なんじゃもんじゃの木

2. 日常の様子

(1) 訓練等



自隊警備訓練

任務遂行に支障が出ないよう、不法に所内への侵入を試みようとする人物に対する警戒を行い、必要に応じた阻止行動を実施します。



警備犬



ソフィア(♀)



グランツ(♂)

敷地の中では、二頭の警備犬が常時警戒しており、隊員が世話と訓練を実施しています。ジャーマンシェパードなので体格もよく、声も大きいので警備には最適な犬種です。しかしながら当警備所は、自然あふれる山中にあるため、野生の鹿や猪が多く、任務に愚直なまでに忠実な2頭は、昼夜問わず吠えており、営内に居住する隊員の悩みでもあります。

(2) 地域との交流等

日露対馬沖海戦
120周年慰霊祭



交通安全運動街頭キャンペーン



日露対馬沖海戦の慰霊祭、交通安全運動街頭キャンペーン及び豊崎神社大祭では神輿を担ぐなど年間を通し、様々な行事等に参加し、地域住民との交流を図っています。

豊崎神社大祭



第29回国境マラソンでは、日頃の体力錬成訓練の成果を活かし、無事に全員完走しました。なお、出場していない隊員はボランティア活動で警戒員として参加しています。

国境マラソン



(3) 食事

金曜日の定番



海上自衛隊の陸上部隊でも金曜日のカレーライスが定番です。みんな大好きカレーライス、週末と相まって、自然と笑顔になり午後からの任務にも活力がみなぎります。

2. 自治体紹介

国境の島 長崎県 対馬市



対馬市長 比田勝 尚喜
(ひたかつ なおき)

地域とともに築く安全・安心

本市は、西に朝鮮半島、東に九州を臨む位置にあり、九州本土まで約138km、韓国までは約49.5kmの距離にある国境の島であります。その地理的特性から、大陸との交流の歴史を重ねてきた島であり、安全保障上の重要な役割を担っています。

今回、本誌で取り上げられております海上自衛隊上対馬警備所の本部である「海上自衛隊対馬防備隊」をはじめ「陸上自衛隊対馬駐屯地」及び「航空自衛隊第19警戒隊」の皆様には厳しい自然環境の中、24時間365日、我が国の平和と地域の安全を守る任務に従事いただいております。

また、災害時の対応や国境マラソンIN対馬をはじめとした各種イベントへの協力・参加などを通じ、地域に寄り添った活動を続けていただいております。地域住民とも密接で良好な関係を築かれております。

対馬市と自衛隊は、これからも相互理解と信頼関係を大切にしながら、国家的役割の維持・強化と安心して暮らし続けられる地域づくりを進めてまいります。

対馬市の魅力再発見！

～デジタルマップ「対馬大陸図」で島巡り！～

デジタルマップ「対馬大陸図」を活用して、対馬のさまざまな魅力を発見してみてください！

大陸図 TSUSHIMA DIGITAL MAP 対馬

対馬デジタルマップ

「対馬」は島ではなく、広大な大陸のような場所。渾んだ海、深い森、美味しい食べ物、そして歴史が息づく地。南北に長く広がる対馬には、想像を超える感動があります。デジタルマップ「対馬大陸図」を使って、まだ知らない対馬の魅力を疑似体験してみてください。きっと人生を変えちゃうくらいの大冒険が始まるはずです。

対馬のデジタルマップ「対馬大陸図」サービスがスタート！

アプリのインストール不要！

登録スポットは250件以上！観光スポットや宿泊施設、飲食店、小売店などラインナップが豊富

モデルコースもナビゲート

マップ上にルート表示されるので道迷いやエリアがひと目でわかる

シェア&いいね！機能を搭載

お気に入りのスポットをシェアすることで情報発信や共有ができる

観光スポット検索

城山 (金田城跡)

1,350年前に築かれた朝鮮式古代山城で、防人が国防の最前線を抱えた歴史的な場所です。日露戦争時には近代要塞として整備され、古代と近代が融合する特別史跡となっています。「続日本100名城」や日本「最強の城」に選ばれたことで、その歴史的価値が再評価されています。対馬の軍事的役割を伝える貴重な文化遺産です。

住所 長崎県対馬市美津島町黒瀬

グルメ検索

あなご

食通が知る美味しさ。対馬一推しの海鮮食材

対馬は全国トップクラスの水揚げ量誇る穴子の産地で、長崎県内の約98%が対馬産です。対馬の穴子は水深150～200m、水温約6℃の深層で、胎が壊った小魚や甲殻類を餌につつまれ、身が引き締まり肉厚で濃厚な味わいが特徴です。伝統的な干製により骨がつかず美しい状態で水揚げされ、小さな穴子を逃がす設計で資源保護にも配慮されています。産が金色-

住所 BQ6FHGG4+9R

自然検索

ツシマヤマメコ (つしまやまねこ)

ツシマヤマメコ (つしまやまねこ) は環境省より絶滅危惧種に指定されている希少な野生のヤマメコです。同種はベンガルやマネコの亜種で対馬にのみ生息し、身体的特徴としては猫科に属する一般的な猫よりも一回り大きく、胴長短足で、耳の後ろに白い斑点があり、尾が太くて長いなどの特徴があります。ツシマヤマメコ (つしまやまねこ) は約10万年前-

住所 対馬全土、特に上島地域に生息しています

交通&サポート検索

モデルコース検索

10個のモデルコースを掲載中です！ (令和8年1月現在)

Platinumaps プラチナマップ ポールドライト株式会社

対馬市HP ・ 対馬観光サイト ・ 各種公式SNS (LINE・Instagram・Facebook)

対馬市HP

対馬市公式LINE

対馬市公式Instagram

対馬市公式Facebook

対馬観光サイト



3. 業務紹介

管理部 施設取得課

概要

- 施設取得課では、自衛隊及び在日米軍が演習場や駐屯地等として使用するための土地や建物等の取得（借上げ含む）に関する業務や、在日米軍が公務の上で有料道路等を使用した場合の損失補償に関する業務を行っています。

なお、当局の管轄区域は、施設の取得については右図のとおり本局と熊本防衛支局がそれぞれ所掌しており、有料道路等使用における損失補償については、本局が九州全域を所掌しています。



主な業務

- 土地の購入は、取得予定地の権利関係や法律上の規制等を調査するとともに、用地測量調査、不動産鑑定評価等を実施の上、土地所有者と交渉を重ね、不動産売買契約を締結し取得しています。
- 土地・建物等の借上げは、土地や建物等の所有者との合意のもと、賃貸借契約を締結し、使用するための権利を取得しています。
- 在日米軍が公務の上で、港、飛行場及び道路（提供施設を除く）を使用する場合は、日米地位協定に基づき使用料金が課されないことから、当局が管理者に対し補償しています。



4. インフォメーション

第46回 防衛問題セミナーを開催



挨拶する伊藤局長

去る11月16日(日)長崎ブリックホール(長崎県長崎市)にて、「長崎から安全保障を考える～防衛産業政策と海上自衛隊の活動～」と題し、九州防衛局主催の『第46回防衛問題セミナー』を実施しました(来場者約150名)。

はじめに、主催者を代表して伊藤和己九州防衛局長の挨拶が行われた後、2部構成での講演が実施されました。

第1部では「防衛産業政策について」と題し、防衛装備庁装備政策部装備政策課 射場隆昌課長による講演が行われました。

防衛産業の発展や、国際情勢を踏まえた装備品の安定供給など、防衛装備庁の防衛産業政策についてお話しになりました。

防衛産業が盛んな長崎市において、防衛産業への新規参入の促進に向けたお話しもあり、有意義な講演となりました。

国内の防衛生産基盤の重要性が高まっている昨今、今後の展望や課題についてもわかりやすくご講演いただきました。



第1部の講演を行う射場課長

第2部では「海洋安全保障に資する海上自衛隊の活動～第151連合任務部隊とインド太平洋方面派遣～」と題し、海上自衛隊佐世保地方隊 福田達也総監による講演が行われました。

福田総監自身の経験談をもとに、海上自衛隊の海賊対処行動やインド太平洋地域の各国海軍等との共同訓練についてわかりやすくご講演いただきました。

講演の途中には、海上自衛隊とインド太平洋地域の各国海軍等との共同訓練の様子などが上映され、来場者からも非常に好評をいただきました。



第2部の講演を行う福田総監

九州防衛局では、今後も防衛省の諸施策や自衛隊の活動について、より多くの方々に理解してもらうため、九州各地で防衛問題セミナーを開催していく予定ですので是非ともご参加ください。

九州防衛局公式Xでは、セミナー等の開催情報を発信中です！ぜひフォローをお願いいたします。

防衛省 九州防衛局
@kyushuRDB_koho



会場の様子

築城基地航空祭にて広報活動を実施

昨年11月30日（日）、航空自衛隊築城基地（福岡県築上町）において、TSUIKI AIR SHOW（航空祭）が開催され、約8万2千人の航空ファンや家族連れが訪れ、大盛況に終わりました。

ブルーインパルスやF-2等の飛行展示や、航空自衛隊をはじめ陸上自衛隊や海上自衛隊、米軍、海上保安庁等の装備品の地上展示も行われ、大勢の観客を魅了しました。

我々九州防衛局もブースを設置して、防衛白書パネルやブルーインパルス等の記念撮影コーナーを設け、行列もできるほど多くの方にお立ち寄りいただき、防衛省の政策広報を実施しました。クイズ正解者にはオリジナル缶バッジをプレゼントしたり、ペーパークラフトを配布するなど、お子様から大人まで様々な年齢層の方に楽しんでいただきました。

九州防衛局は、今後とも防衛省の諸施策や自衛隊の活動について、多くの方々にご理解頂けるよう、わかりやすい広報に努めてまいります。



九州防衛局入札監視委員会による健軍駐屯地の現地視察

昨年12月25日（木）、熊本防衛支局2階大会議室にて、令和7年度第3回九州防衛局入札監視委員会を開催しました。

入札監視委員会とは、地方防衛局をはじめとする防衛省発注機関が実施する入札及び契約について、その過程並びに内容の透明性を確保するための審議を行う第三者で構成された委員会です。

委員会の開催に先立ち、熊本防衛支局に隣接する健軍駐屯地にて発注を予定している施設最適化事業において、建物解体予定のNo.20補給廠（旧・熊本航空機製作所組立工場、昭和18年竣工）をはじめとした施設最適化の対象となっている建物等を視察しました。



▲建物解体予定のNo.20補給廠（昭和18年竣工）の視察を行う委員の方々



▲熊本防衛支局2階大会議室における入札監視委員会の審議の様子

九州防衛局では不測の事態に対応するため、夜間・休日を問わず連絡体制を確保しております。

夜間及び休日の連絡先

電話：(092) 483-8832（自動音声による案内）

平日は17時15分から翌朝8時30分まで
休日は終日